

平成25年5月21日

消費生活用製品の重大製品事故に係る公表について

消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告のあった重大製品事故について、以下のとおり公表します。

1. ガス機器・石油機器に関する事故 3件
(うち石油給湯機付ふろがま2件、
石油ストーブ(半密閉式、床暖房機能付)1件)
2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因が疑われる事故 4件
(うち水槽用サーモスタット付ヒーター1件、電気温水器1件、
電気洗濯乾燥機1件、空気清浄機1件)
3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因か否かが特定できていない事故 3件
(うち電気冷蔵庫1件、テーブルタップ1件、脚立(踏み台兼用)1件)
4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故調査判定合同会議(※)
において、審議を予定している案件
該当案件無し

1. ～ 4. の詳細は別紙のとおりです。

※正式名称は「消費者安全調査委員会製品事故情報専門調査会及び消費経済審議会
製品安全部会製品事故判定第三者委員会合同会議」という。

5. 留意事項

これらは消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づく報告内容の概要であり、現時点において、調査等により事実関係が確認されたものではなく、事故原因等に関し、消費者庁として評価を行ったものではありません。

(管理番号A201100764を除く。)

本公表内容については、速報段階のものであり、今後の追加情報、事故調査の進展等により、変更又は削除される可能性があります。

6. 特記事項

(1)九州変圧器株式会社(現 株式会社キューヘン)が製造した電気温水器について(管理番号A201300115)

①事故事象について

九州変圧器株式会社(現 株式会社キューヘン)が製造した電気温水器から発煙し、当該製品を焼損する火災が発生しました。

当該事故の原因は、現在、調査中ですが、当該製品の電気回路に使用したヒーターリレーの配線接続部分である「差し込み方式」のソケット取付けの作業不良により、長期使用に伴い、リレー端子の接点が接触不良となり、アーク放電が生じて火災に至ったものと考えられます。

②再発防止策について

同社は、当該製品を含む対象機種(下記③)について、事故の再発防止を図るため、平成20年4月25日にプレスリリース及びホームページへの情報掲載、翌4月26日に新聞社告の掲載を行うとともに、判明購入者に対するダイレクトメールの送付等により注意喚起を行い、対象製品について無償点検・改修(ヒーターリレーの交換)を実施しています。

③対象製品等：形態、機種・型式、製造期間、改修対象台数

形態	機種・型式	製造期間	改修対象台数
丸形D3	SM830DB-C177 SM837DB-C178 SM846DB-C179 SM855DB-C180	1996年9月 ~ 2000年10月	40,542台
角形D3	SM830DB-F01 SM837DB-F02 SM846DB-F03		
角形R2	SM830RB-F04 SM837RB-F05 SM846RB-F06		
床下用	SM846D-G01		

平成20年4月25日からリコールを実施

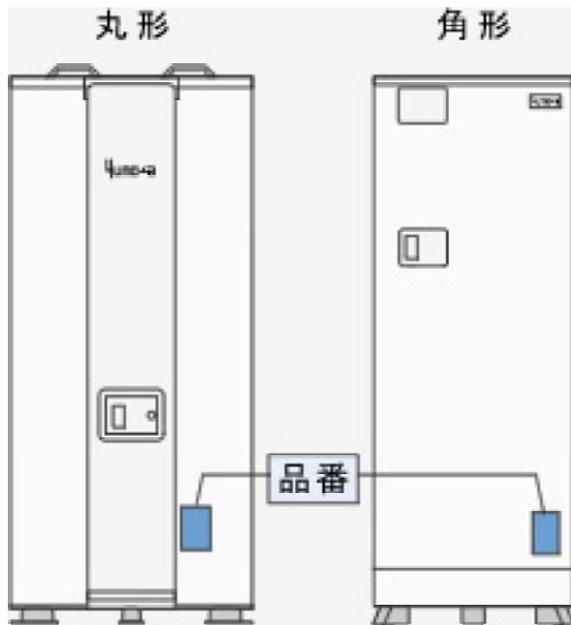
改修率 92.0% (平成25年3月31日現在)

対象製品の外観(写真はSM837DB-C178)



対象製品の確認方法：当該製品に表示されている品番を確認してください。

1) 形態が「丸形D3」、「角形D3」、「角形R2」のもの



2) 形態が「床下形」のもの



④消費者への注意喚起

対象製品をお持ちの方で、まだ製造事業者の行う無償点検・改修を受けていない方は、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

(株式会社キューヘンの問合せ先)

電話番号：0120-048-500

受付時間：9時～18時（土・日・祝日を除く。）

ホームページ：<http://www.kyuhen.jp/>

http://www.kyuhen.jp/pr/backnumber/bn2013_0521/

(2) 日立ホーム・アンド・ライフ・ソリューション株式会社（現 日立アプライアンス株式会社）が製造した電気洗濯乾燥機について（管理番号A201300118）

①事象について

日立ホーム・アンド・ライフ・ソリューション株式会社（現 日立アプライアンス株式会社）が製造した電気洗濯乾燥機を使用中、当該製品から発煙し、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生しました。

当該事故の原因は、現在、調査中ですが、当該製品の内ふた上にこぼれた洗剤が外槽部に流れ込み、ヒーターリード線に付着して芯線が腐食し、脱水時等の振動により断線して短絡が生じて、近傍の樹脂部品に着火し、発煙・出火に至ったものと考えられます。

②再発防止策について

同社は、当該製品を含む対象機種（下記③）について、事故の再発防止を図るため、平成17年12月20日にホームページへ情報を掲載するとともに、複数回にわたる新聞社告の掲載、ダイレクトメールの送付や販売店等でのポスター掲示等により、注意喚起を行い、対象製品について無償点検・改修を実施しています。

③対象製品等：機種・型式、製造番号、製造期間、改修対象台数

機種・型式	製造番号	製造期間	改修対象台数
NW-D8AX (H)、(G)、(P)	全数	2001年（平成13年）8月 ～ 2002年（平成14年）12月	140,556台
NW-CSD80A (H)	全数		1,796台
NW-D8BX (A)、(W)、(Y)	2000001 ～ 2068302		68,302台
NW-D6BX (G)、(D)	2000001 ～ 2028218		28,218台
合 計			238,872台

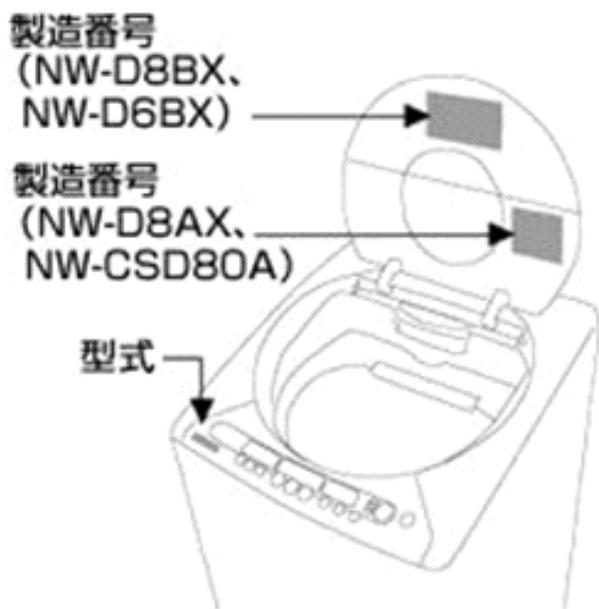
(注) 上記の製造番号以外は対象外です。

平成17年12月20日からリコールを実施
改修率 78.4%（平成25年4月30日現在）

対象製品の外観（写真はNW-D8AX）



対象製品の確認方法：当該製品の裏蓋に表示されている製造番号及び前面操作パネルに表示されている型式を確認してください。



⑤消費者への注意喚起

対象製品をお持ちの方で、まだ製造事業者の行う無償点検・改修を受けていない方は、直ちに使用を中止し、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

(日立アプライアンス株式会社の問合せ先)

電話番号：0120-667-220

受付時間：9時～17時（土・日・祝日を除く。）

ホームページ：<http://kadenfan.hitachi.co.jp/nw-db/index.html>

(本発表資料の問合せ先) 消費者庁消費者安全課
(製品事故情報担当) 担 当 : 大木、長井、川船^{かわふね}
電 話 : 03-3507-9204 (直通)
F A X : 03-3507-9290

(九州変圧器株式会社(現 株式会社キューヘン)が製造した電気
温水器についての発表資料に関する問合せ先)

(日立ホーム・アンド・ライフ・ソリューション株式会社(現 日
立アプライアンス株式会社)が製造した電気洗濯乾燥機についての
発表資料に関する問合せ先)

経済産業省商務流通保安グループ製品安全課製品事故対策室
担当 : 宮下、古田、長沼 電 話 : 03-3501-1707 (直通)
F A X : 03-3501-2805

1. ガス機器・石油機器に関する事故(製品起因か否かが特定できていない事故を含む)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201300116	平成25年5月4日	平成25年5月16日	石油給湯機付ふろがま	JIB-7SAG	株式会社長府製作所	火災	当該製品で給湯後、湯温が低いため追い焚きしたところ、停電、当該製品から出火する火災が発生し、当該製品を焼損した。現在、原因を調査中。	千葉県	製造から20年以上経過した製品
A201300122	平成25年4月30日	平成25年5月17日	石油ストーブ(半密閉式、床暖房機能付)	UH-84PA2	株式会社コロナ	火災 軽傷3名	建物を1棟全焼する火災が発生し、3名が負傷した。現場に当該製品があった。当該製品から出火したのか、他の要因も含め、現在、原因を調査中。	北海道	5月16日に消費者安全法の重大事故等として公表済
A201300123	平成25年5月8日	平成25年5月17日	石油給湯機付ふろがま	UKB-320TX3(M)	株式会社コロナ	火災	当該製品を使用後、プレーカーが作動したため確認すると、当該製品を焼損する火災が発生していた。現在、原因を調査中。	新潟県	製造から15年以上経過した製品

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201100764	平成23年12月25日	平成23年12月28日	水槽用サーモスタット付ヒーター	ミニオートNEO80W	株式会社マルカン	火災	当該製品を焼損する火災が発生した。調査の結果、当該製品の取扱説明書には毎日の水位の点検、水面よりも十分に深く設置する旨の記載があるが、水槽内の水を不足させたことで当該製品が空中に露出したため空焚き状態となったこと、及び、当該製品の取扱説明書に記載されていた時間では、サーマルリッドスイッチ(空焚き防止機能)が作動しなかったことから、餌や糞など水槽内の堆積物及びヒータ管に貼り付けた銘板ラベルから発煙したものと推定される。 なお、取扱説明書には、「空焚き状態にならないように注意してください。」「ヒーターの設置位置に注意してください。ヒーター管は水平に近い状態に設置し、垂直や垂直に近い状態では使用しないでください。」「ヒーター管は炭酸カルシウムが付着しやすいので、時々、掃除してください。表面の汚れ(炭酸カルシウムの付着など)がひどいものは使用しないでください。」「空気中では通電しないでください。空焚き防止機能が作動するまで約30秒かかり、その間、ヒーター管が加熱されます。」との注意表記が記載されている。	東京都	平成24年1月6日にガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故として公表していたもの

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故(続き)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201300115	平成25年5月7日	平成25年5月16日	電気温水器	SM837DB-C178	九州変圧器株式会社 (現 株式会社キュー ヘン)	火災	当該製品から発煙し、当該製品を焼損する火災が発生した。 事故原因は、現在、調査中であるが、当該製品の電気回路に使用したヒーターリレーの配線接続部分である「差し込み方式」のソケット取付けの作業不良により、長期使用に伴い、リレー端子の接点が接触不良となり、アーク放電が生じて火災に至ったものと考えられる。	福岡県	平成20年4月25日からリコールを実施(特記事項を参照) 改修率 92.0%
A201300118	平成25年4月27日	平成25年5月16日	電気洗濯乾燥機	NW-D8AX	日立ホーム・アンド・ライフ・ソリューション株式会社(現 日立アプライアンス株式会社)	火災	当該製品を使用中、当該製品から発煙し、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。事故原因は、現在、調査中であるが、当該製品の内ふた上にこぼれた洗剤が外槽部に流れ込み、ヒーターリード線に付着して芯線が腐食し、脱水時等の振動により断線して短絡が生じて、近傍の樹脂部品に着火し、発煙・出火に至ったものと考えられる。	兵庫県	平成17年12月20日からリコールを実施(特記事項を参照) 改修率 78.4%
A201300119	平成25年5月5日	平成25年5月16日	空気清浄機	MCK75K-P	ダイキン工業株式会社 (輸入事業者)	火災	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	東京都	

3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201300117	平成25年4月24日	平成25年5月16日	電気冷蔵庫	火災	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	愛知県	5月10日に消費者安全法の重大事故等として公表済
A201300120	平成25年3月28日	平成25年5月17日	テーブルタップ	火災	複数の電気製品を接続していたところ、当該製品を焼損する火災が発生した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	静岡県	事業者が事故を認識したのは、5月7日
A201300121	平成25年4月7日	平成25年5月17日	脚立(踏み台兼用)	重傷1名	当該製品を使用中、転倒し、負傷した。当該製品の脚が破損しており、使用状況を含め、現在、原因を調査中。	新潟県	事業者が事故を認識したのは、5月7日

4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故調査判定合同会議において審議を予定している案件

該当案件無し

水槽用サーモスタット付ヒーター（管理番号：A201100764）



空気清浄機（管理番号：A201300119）

